

いまさらですが
基隆(台湾)の話
 キールン

星島一夫 会員



司馬遼太郎 街道をゆく「台湾紀行」から 基隆にて

港は北にひらき、港口は狭く、港内の水路は腸のように曲がっている。海面からいきなり山があり、山々の緑はくどいほどに濃い。

丘の頂上まで車で登る事ができる。頂上には、航海者を見守る大観音像が立っている。丘の頂上から、狭い水路を見下ろしていると、老台北が、古い歌を口ずさんでいた。

港内に、軽快そうな軍艦がつながれている。

